

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
福井県

行事名称	令和7年大本山永平寺文化財防火デー火災防御訓練
実施期間・日時	令和7年1月21日(火) 13:00~15:30
実施場所	国指定重要文化財建造物 永平寺 僧堂ほか(福井県吉田郡永平寺町志比5-15)
主催者	永平寺町消防本部・署、曹洞宗大本山永平寺

■実施内容

訓練の想定

1月21日(火) 13時25分頃、永平寺町志比大本山永平寺僧堂から出火。火災は初期から中期へと拡大中で、隣接する仏殿に延焼の虞がある。参拝客の負傷者、逃げ遅れ者は不明、消防隊は要救助者の確認と火災の消火、延焼防止活動、重要文化財の搬出を指揮隊の指揮の下に行う。

訓練の内容

本山活動隊による指揮本部設置、出火場所確認、初期消火、通報、参拝客等の避難誘導、重要物件(模擬)の持出等による訓練を実施。消防署・自衛消防隊による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

参加総数: 約80名(消防署17名、消防団3名、大本山永平寺職員・雲水約60名)

(1) 本山活動隊

○本山行動

本山指揮本部設置(防災センター)、出火場所確認、初期消火、通報班は管内放送・119通報等、避難誘導班は参拝客等の避難誘導と負傷者の確認、重要物件持出班は物件の持出、消火班は本山自衛消防隊と協力し屋外消火栓を使用し(仏殿付近)放水を行う。(予防課訓練検証)

○本山自衛消防隊

本山指揮本部からの出場要請を受け出動、仏殿付近の屋外消火栓を使用し火災防御にあたる。

(2) 署・団出動隊

○管制室

119通報確認後、出場指令を流す。

○現場指揮本部

山門付近に現場指揮本部を設置、直歳寮にて情報収集後、出場各隊に下命、現場指揮にあたる。

○消防隊

出場指令を受け出場、現場指揮本部に下命を受け、山門付近の消火栓に水利部署し延焼防止等火災防御にあたる。(大庫院東側道路へ放水銃にて大量放水)又、ドレンチャーホースを使用(事前に延長設置)し山門の延焼防止にあたる。

○消防団

積載車で自然水利に部署(可搬ポンプ)し、65mmホース延長し、延焼防止等火災防御にあたる。(僧堂から仏殿への渡り廊下付近に噴霧注水)

特に工夫した点

今回の訓練においては、国宝・重要文化財(建造物)等に対応した防火訓練マニュアルに基づき、最も火災の危険性の多い時間帯、出火危険がある場所で初期消火が困難な場所を出火場所に選び訓練を実施した。

問題点・課題

特になし

その他

文化財防火デー行事の一環として永平寺町消防本部警防計画に基づく火災防御訓練を実施、その実効を検証し今後の更なる消防戦術、活動要領等、研鑽の糧とする。

訓練風景



(本山自衛消防隊による放水訓練)



(消防隊による放水訓練)